

ドイツのゴールドンプランの展開とベルリン州のスポーツ施設

○ 久保内智子(東海大学大学院生) 西野 仁(東海大学)

I. はじめに

1960年ドイツ・オリンピック協会(DOG)が、スポーツ施設の総合計画であるゴールドンプラン(Goldener Plan)を発表した。この計画は1961年から1975年の15年間に行われる計画である。ゴールドンプランの発想は1920年に国家体育委員会の事務総長カール・ディーム氏によって作成された施設建設の基準の提案がもとになっている。

ゴールドンプランがスポーツ振興のハード面であることに対して、ソフト面においては国民のためのスポーツ奨励策「第2の道(Zweiter-Weg)」が、1959年ドイツ・スポーツ連盟(DSB)から発表された。「第2の道」とは「第1の道」をオリンピックなどを目指すエリートのスポーツを言うのに対して使われるものである。「第2の道」はやがて「トリム運動」へと発展していく。

このようなスポーツ振興が約40年前西ドイツにおいて行われていた。この背景には、第二次大戦敗退からの復興により生活が豊かになった一方で、この急速に変化した生活に対応できなくなったことがあげられる。

ところで日本において、2000年に「スポーツ振興基本計画」が発表され、その中に地域におけるスポーツ環境の設備を充実させることが掲げられ、総合型地域スポーツクラブの全国展開を目指している。これは、ヨーロッパをモデルとしたものである。そこでドイツのスポーツ振興、特にスポーツ施設の計画であるドイツのゴールドンプランが、これまでどのように展開され、現状はどうかについて明らかにしようと考え本研究に着手した。

II. 研究の目的と方法

1. 研究の目的

1960年以来ゴールドンプランがどのように展開されたか、特に1990年東西ドイツ統一後の計画はどのようになっているのかを、スポーツ施設に着目し明らかにする。

2. 研究の方法

- ① ドイツのスポーツ振興について、特にゴールドンプランに関する日本とドイツの文献を中心に研究を進める。
- ② 2002年2月17日～3月29日ドイツ滞在中にベルリンで行った現地調査により、現在のベルリン州におけるゴールドンプランがどのようになっているのかを明らかにする。Landessportbund Berlin、Senatsverwaltung für Schule, Jugend und Sportにおいては、あらかじめ質問紙を作成しそれを使いインタビューを行った。インタビューの内容は、ベルリン州におけるスポーツ施設についてである。

資料収集場所 ・ Landessportbund Berlin
 ・ Senatsverwaltung für Schule, Jugend und Sport
 ・ Senatsbibliothek

III. 結果および考察 ゴールドンプランの展開

1. ゴールドンプランの展開

1960年	⇒	1967年	⇒	1984年	⇒	1992年
ゴールドンプラン 第一次覚書		ゴールドンプラン 第二次覚書		第二次ゴールドンプラン 第三次覚書		東のゴールドンプラン

2. ベルリン州におけるスポーツ施設の現状¹⁾

ベルリン州の屋外施設、室内施設、屋外プール、室内プールの基準値及び充足率は表1, 2のようであった。またベルリン州を12の地区別(表3)に見た屋外施設の充足率は図1のようであった。

表1. 施設建設の基準値

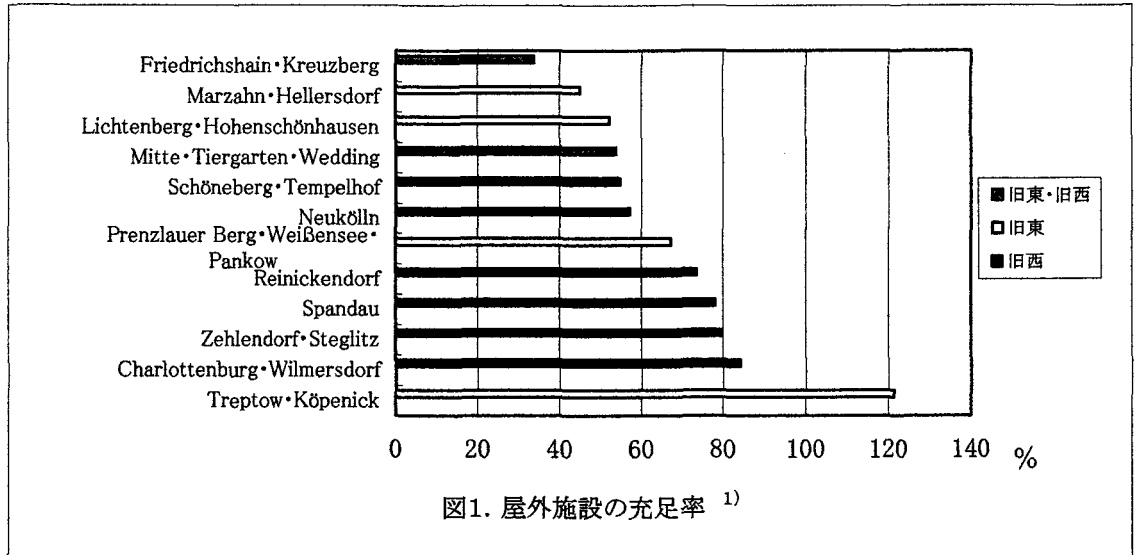
スポーツ施設	屋外施設	室内施設	屋外プール	室内プール
基準値	2.50 m ² /E	0.34 m ² /E	0.10 m ² /E	0.01 m ² /E

表2. ベルリン州のスポーツ施設充足率

スポーツ施設	屋外施設	室内施設	屋外プール	室内プール
充足率	70.71%	60.61%	146.93%	106.12%

表3. ベルリン州の12の地区 (E)=旧東 (W)=旧西

①Mitte(E)・Tiergarten(W)・Wedding(W)	②Friedrichshain(E)・Kreuzberg(W)
③Prenzlauer Berg(E)・Weißensee(E)・Pankow(E)	④Charlottenburg(W)・Wilmerdorf(W)
⑤Spandau(W)	⑥Zehlendorf(W)・Steglitz(W)
⑦Schöneberg(W)・Tempelhof(W)	⑧Neukölln(W)
⑨Treptow(E)・Köpenick(E)	⑩Marzahn(E)・Hellersdorf(E)
⑪Lichtenberg(E)・Hohenschönhausen(E)	⑫Reinickendorf(W)



スポーツ施設の充足率は、屋外プール、室内プールについては100%を越えている。屋外施設、室内施設については、充足率を満たしていない。

V. 今後の研究の進め方

ベルリンだけではなく、ドイツ全体においてゴールデンプランがどのようになっているのか研究を進めていきたい。

参考文献

1) 「Sportanlagenstatistik BERLIN 2000—Versorgung der 12 neuen Bezirke」